平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	2	身近なところで高度な医療を提供する	評価責任者 (基本施策主管課長)	健康推進課長 入本 理
-------	---	-------------------	---------------------	----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 政 策	安心・安全 健やかに暮らせる安心なまちづくり
① 市民意識調査結果	満足度	<p>必要度</p>
③ 基本施策の現状と課題	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>平成16年の新臨床研修医師制度により、全国の医師が都市部に偏在する現象が表面化した。 このことにより、伊賀地域においても、大学病院への医師引き上げが原因し、医師不足が顕著を呈し伊賀市、名張市でこれまで単独で実施していた救急医療体制が維持できなくなり、平成20年4月から地域内3病院による二次救急輸送を開始した。 しかしながら、概ね地域内で完結できていた医療水準も、医師の過重労働や救急搬送の受け入れができないケースが発生し、極めて厳しい状況が続いている。 伊賀地域の地域内3総合病院は、地域の中核病院の役割として市民のニーズが高い救急医療の充実、ガン対策等それぞれの病院が専門性を持ち特色のある病院機能の強化を図っている。また救急医療体制堅持のため応急診療所は、一般の医療機関で診療を行っていない休日や夜間における応急的な状況に対応している。 さらには、救急要請件数を減らすため、平成22年7月から伊賀市救急相談ダイヤル24事業を開設し、救急医療体制の負担軽減のため施策を講じてきたため、今回の市民アンケートによる必要度・満足度とも前回と比較して改善の傾向が見られる。</p> <p>①地域医療崩壊の負の連鎖を防ぐための公立病院常勤医師の確保が喫緊の課題である。 ②平成19年度までは、二次救急医療は市内でほぼ完結できたが常勤勤務医の大幅な減少で完結が困難となり、現在は、伊賀圏域外の二次救急病院への救急患者の転院搬送サポートを仰いでいる。 ③軽症と思われる症状でも、高齢者ほど開業医ではなく、病院志向が高い。 ④救急搬送者のうち、50%以上が軽症患者である。 ⑤救急相談ダイヤルの供用開始後も救急出動件数は減少していない。(供用開始前と同水準である。)</p>	
④ 基本施策の意図、今後の展望	<p>医師・看護師不足のなかで、救急病院での時間外診療による医療従事者の過重労働の軽減と広域的な地域医療体制を構築するため、 ①常勤勤務医を確保するためのあらゆる施策を講じる。 ②市民に対して、早めの「かかりつけ医」での受診の啓発推進を行う。 ③軽症者の救急搬送の適正化(救急車の利用の適正化)を図る。 ④サポート病院へ協力を要請する。 ⑤救急相談ダイヤル24事業の利用促進のための周知啓発を行う。</p>	

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額		
1	健康福祉部 地域医療対策室	465	救急医療事業		142,798	92,044	92,044	1
2	市民病院庶務課	1137	本館耐震補強事業		71,510	318,123	0	4
3	健康福祉部 地域医療対策室	2313	応急診療所管理運営事業		0	88,337	88,337	3
4	市民病院庶務課	2347	オーダリングシステム(電子カルテ)導入事業		1,440	452,880	0	2
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続紙)								
事業費 合計					215,748	951,384	180,381	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	基本施策指標については、ほぼ目標達成しているものの健診(検診)受診者を増やすための広報啓発が必要である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	市民が求める安心・安全な医療を提供するために、伊賀圏域二次救急3総合病院の現状の窮地を打開し、持続可能な救急医療体制を整備・確保しなければならない事業である。
3 役割分担の妥当性	安心な医療体制を確保することは、県・市各行政の責務である。県においても「医師確保対策チーム」を立ち上げるなど医師確保に対応する事業推進を図っている。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	引き続き、上野総合市民病院の常勤内科医師の確保に全力を挙げて取り組む。限られた医療資源を有効に活用するため、救急医療に携わる病院の診療機能の重点化を図り、魅力ある病院作りに努める。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補					優先順位
健診センター健診(検診)受診者数		PET検診を含む受診者数					1

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度 目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H21	H22	H23	H25	H27		
1 PET検診を含む受診者数	目標	人	-	4100	4200	4500	4600	健診センター内健診(検診)
	実績	人	4099	4403				
	達成率	%	#VALUE!	107.4				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				